

平成31年度当初予算 予算要求シート

事業区分： 重点 マスタープラン： 3つの挑戦 / 低炭素 施策番号： 4-2 ・ 5-3 局・課名： 市長公室 企画部 企画推進担当

事業名	水素エネルギー社会構築事業	事業費(千円)	平成29年度決算額	平成30年度予算額	平成31年度要求額	
					11,891	13,196
事業概要	【目的】	<p>本市が有する臨海部のエネルギー拠点としてのポテンシャルを活かし、産学公連携による推進体制のもと、次世代エネルギーとして期待される水素エネルギー市場の拡大を先導し、各種の水素関連の投資促進を通じて地域産業・経済の発展や雇用拡大を図るとともに、持続可能な環境にやさしいまちの実現をめざす。</p> <p>【内容】</p> <p>堺市水素エネルギー社会推進協議会のプラットフォームのもと、堺市水素社会構築ロードマップの構想実現に向け、公・民有地における水素ステーションなど水素を利活用した水素利活用モデルの構築や、将来の海外からの水素供給も見据えた臨海部における水素ネットワーク拠点に向けた取組を進める。</p> <p>あわせて、市民・企業に対する水素の普及啓発、情報発信を行い、産学公による水素利活用を促進していく。</p> <p>【今年度要求のポイント】</p> <p>堺市水素社会構築ロードマップや臨海部の水素ネットワーク拠点(水素HUB)構築に向けたビジョン(H30年度作成予定)のもと、水素ネットワークや水素利活用に向けた取組を促進するとともに、引き続き水素に係る情報発信、普及啓発を行う。</p>	債務負担行為		期間	要求額(千円)
			H ~ H			
	主要要求内容 (単位:千円)					
	項目		30年度予算	31年度要求額	内容・積算等	
	水素エネルギー協議会負担金		13,000	3,000	水素普及啓発、取組促進	
	事務経費		196	254	旅費等	
			合計	13,196	3,254	
スケジュール(経過及び今後展開)						
【経過(～30年度)】 臨海部の水素ネットワーク拠点構築に向けたビジョン案の検討・作成や、水素利活用モデルの検討		【31年度】 水素ネットワークや水素利活用に向けた取組促進や普及啓発等		【今後予定(32年度～)】 水素HUB構築や水素利活用に向けた取組促進、普及啓発等		
その他 特記事項						
みんなの審査会対象外 関連事業：						